



学びの庭

学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図り、
児童一人一人のよさや可能性を伸ばす。

〒400-0814 山梨県甲府市上阿原町491番地 電話 055-233-2447 FAX 055-233-2451 E-mail:tamamoro-e@kofu-ymn.ed.jp

創立 明治5年
1872年

令和3年(2021年)6月30日

発行責任者 校長 山本英寿

1学期もあと3週間 充実感のある学期末に



【理科の授業の様子】

天の川が美しい季節となりました。早いもので7月を迎え、1学期もあと3週間となりました。この期間に学習や生活のまとめをしっかり行い、子どもたちが充実感や達成感を持って1学期を終えられるように指導していきたいと考えています。

今週の授業参観、学級懇談会へのご出席、ありがとうございました。子どもたちの1学期の成長を感じていただけたことと思います。夏休みに向けて、学校と家庭との連携をさらに大切にしていきたいと考えています。変わらぬご理解、ご協力をお願いします。



家庭学習へのご協力を

子どもたちの学力向上のため、本校では校内研究、研修などを通して、教職員の指導力の向上を図り、授業の工夫、改善などを積極的に行っています。また、学級懇談会で話題にさせていただきましたが、今年度も、子どもたちの自ら学ぶ力を育てるため、保護者の皆様の協力をいただきながら家庭での学習習慣を定着させる取り組みを進めていきたいと考えています。

各学年の「家庭学習の手引き」を活用し、発達段階に応じて、主に低学年では家庭学習の習慣づくりを中心に、さらに高学年では中学校への進学を意識した学習に取り組ませていきます。家庭と学校とが「家庭学習を大切にする」という同じ視点に立って子どもたちを支えていくことで、学習習慣の確立が促され、学力向上につながると考えます。子どもたちのやる気、自主的な取組を温かく受け止め、ほめたり、認めたり、励ましたりしてあげてください。ご理解とご協力をお願いいたします。



【家庭学習の手引き等】

「GIGA スクール構想」について

「GIGA スクール構想」という言葉をニュース等で耳にしていることだと思います。学校のICT化を強力に推し進めていくという内容で、令和元年12月に文科省が打ち出したものです。GIGAは「Global and Innovation Gateway for All」の頭文字をとった言葉です。この構想のねらいは、「多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、子どもたち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現(文部科学省のHP

より)」です。1年生から6年生まで1人1台端末を貸与され、学習スタイルも変わります。これまでの一斉学習スタイルを取りながら、端末を使うことにより、子どもたち一人一人の反応を踏まえた「双方型」の授業が可能となります。また、一人一人のニーズや学習状況に応じた個別学習も可能となります。さらに、これまでは、各自の発言内容を黒板に記載しながら学習を進めていたことが、一人一人の考えがリアルタイムに共有でき、いろいろな考えにも触れることが可能にもなります。つまり、多様な学習スタイルが可能となります。リモートで他校の子どもたちとも学習ができるかもしれません。すでに、学校に届いており、現在、職員で研修を行っています。準備が整い次第、子どもたちに配付し、使い方の学習を行います。



【1人1台端末を起動させて】

学校評議員会開催

6月8日（火）に、第1回学校評議員会を開きました。「学校評議員制度」は保護者や地域の方の意見を幅広く聞き、学校の教育活動に生かしていくための仕組みです。本校では、年に2回の学校評議員会を開催しています。今回は、学校評議員委嘱状交付を行い、今年度の本校の教育目標とそれに基づく教育計画に対して、それぞれの立場からご意見をいただきました。今後も本校の教育活動全般について、ご意見をいただくとともに、ご理解、ご協力を得ながら、本校ならではの教育活動を展開していきたいと考えています。

本年度の学校評議員は、小林達男様（地区民生児童委員）、石原初江様（地区青少年育成推進協議会委員）、市川公美様（地区子どもクラブ指導者連絡協議会理事）、後藤拓様（本校PTA会長）の4名の方々です。よろしくお願いたします。

林間学校 ～自然の中でさまざまな体験ができました～

6月6日（日）・7日（月）、5年生が初めての宿泊学習（1泊2日）である林間学校に行ってきました。1日目、まず滝沢牧場に向かいました。乳しぼりや乗馬、動物のえさやりなど命の授業を行いました。午後は、県立八ヶ岳少年自然の家へ移動し、冒険ハイクを行いました。様々なアスレチックを班のメンバーと協力してクリアしながら進んでいきました。夕食後には、体育館でのプラネタリウム鑑賞を行いました。星座等について学び、天体への興味・関心を高める機会となりました。2日目、吐竜の滝絵図ハイクを行いました。絵図をヒントに森の中を探検しました。この2日間の活動を通して、「林間学校でトリプルベストをつくしきずなを深めよう」のテーマのもと、みんなで力を合わせて大自然の中で様々な体験をし、思い出に残る充実した林間学校になりました。この林間学校で学んだことをこれからの学校生活に生かしていきます。



【冒険ハイクの様子】

仲よく楽しめた「フェスティバル たまもろ 2021」

「みんなで楽しもう！笑顔いっぱい思い出に残るフェスティバル玉諸！！」のテーマのもと、6月21日（月）に「フェスティバルたまもろ2021」を開催しました。これは、児童会を中心として、自分たちの力で大きな祭りを計画し実践する過程を通して、児童の自主性・創造性を高め、責任感や協力する態度を養うこと、縦割り活動を通して異学年間の子ども同士の友好を深めることを目的に行うものです。また、集団としての共同作業を通して、学校生活に変化を与え、学校生活をより豊かで楽しいものにする場でもあります。今年度も、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、保護者の



【空きかんタワーのお店】



【もぐらたたきのお店】

皆様へのご参加の呼びかけを控えることとなりました。コロナ禍が終息に向かい、これまでのように子どもたちの学校生活の様子を見ていただけるようになればと願っております。当日は、「わくわく広場」と題して、縦割り班ごとに工夫して作った的当て、缶積み、もぐらたたき、障害物競走など24のお店をお互いに巡り、各会場からは子どもたちの歓声が上がっていました。上級生は下級生の面倒をよく見て、下級生は上級生の言うことをよく聞いて、異年齢集団で仲よく、楽しく活動することができました。

学校だよりのHP版
をご覧くださいませ。

